

NPO法人東京高次脳機能障害協議会——<http://www.brain-tkk.com/>

| T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol. 4

※TKK主催 NPO法人設立記念 高次脳機能障害シンポジウム、7月6日(日)開催
http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=18
 ※東京都の高次脳機能障害者実態調査結果、5月15日に発表される
<http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2008/05/60i5f300.htm>

～目次～

1. TKK活動
2. 関連団体の活動
3. 行政等の活動
4. TKK役員より

【1】TKK活動

●TKKシンポジウム実行委員会

5月17日(木)、渡邊, 赤塚両先生を交え、講演, パネルディスカッションの内容を検討。

●TKKシンポジウム打ち合せ

5月19日(月)、上記の両氏に加えグスタフ・ストランデル氏を含めた外部講師3名と打ち合わせを行いました。

●TKKシンポジウム打ち合せ

6月10日(火)、外部講師と2回目の打ち合わせを行いました。

●「高次脳機能障害ボランティア(支援者)養成講座 ー1ー」を開催しました

5月25日(日)、於：東京都心身障害者福祉センター、助成：麒麟福祉財団
養成講座の開催報告 ===== 細見(み)記

<午前の部>

- ・挨拶：TKK理事長、麒麟福祉財団常務理事 国松氏
- ・講演：「高次脳機能障害を理解する ～脳のリハビリ～」
 講師：中島 恵子氏 (帝京平成大学&大学院 神経心理学・教授)

<午後の部>

- ・講義：「安全な介助法・役に立つ介助法・上手なコミュニケーションの取り方」
 講師 斉藤和夫氏、 斉藤祐美子氏、 廣實真弓氏
 リハビリの専門家による実技を交えての実践的な講義でした
- ・実習：当事者の方々のご協力を頂き、小グループに分かれて3回の実習を行いました。

<参加者>定員を超える83名の方に参加いただきました

参加者うちわけ：福祉職/21、学生/30、家族/14、当事者/2、その他/16 (ST・OT・PT他)
 主催者側として講師・来賓・ボランティア等、29名の方にご協力いただきました。

<評価>75名の方からのアンケートでは、中島先生の講義に全員が「良かった」と評価、
 午後の実習も8割以上の方に満足いただきました。大変に評価が高く、嬉しい
 限りです。養成講座ー2ーも期待されています。

<アンケートの自由記入欄の一部をご紹介>

*「学校の授業だけではなかなかイメージしにくい高次脳機能障害を、実際に接する際の対応方法を学ぶことで、理解が少しでも出来るようになればと思い参加しま

した。講座を受けもっと積極的に経験していきたいと思いました」30代女性・学生
*「高次脳機能障害者の実際を知り、その手助けが少しでもできるようになりたいと思
い、参加しました。高次脳機能障害の方やその家族の方と実際に触れ合って実習
ができたことは本当に初めての体験でもあり、勉強になりました」50代男性・学生
＜新聞＞本講座開催の記事が、読売新聞6月10日夕刊に掲載されました。

- 理事会・総会開催、6月1日（日）午後、於/世田谷ボランティアセンター
2007年度報告、2008年度事業計画・予算等について審議し承認されました。

○NPO法人設立記念 高次脳機能障害シンポジウム

7月6日（日）、於/日本財団ビル、助成：日本財団、後援：スウェーデン大使館・東京都他
詳細→http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=18
昨年に引き続き、TKK主催第2回目のシンポジウムを開催します。奮ってご参加下さい！

【2】関連団体等の活動

- MOMO東京パイロットクラブ18周年記念セミナー、5月10日（土）、なかのZERO大ホール

○葛飾区の高次脳機能障害者ボランティア養成講座

7月から（12月を除き）毎月1回、来年1月まで開催します。短期間で6回に亘って、高
次脳機能障害に関する解説、リハビリ方法等を講義するという、葛飾区としての画期的な
取り組みです。

皆様のご参加をお待ちしています。=== 高次脳機能障害者 家族会 かつしか 代表 山崎

- ・第1回：7月5日（土）「高次脳機能障害とは、どのような障害なのか」

講師：帝京平成大学教授 中島恵子先生

- ・第2回：8月2日（土）「高次脳機能障害の言語リハビリ」 講師 言語聴覚士

葛飾区民以外の方も受講できます。詳細は次にご連絡下さい。

- ・申し込み・問い合わせ：葛飾地域活動支援センター（ウエルピア3階）

葛飾区堀切3-34-1 電話 5698-1336 FAX 5698-1337

- 葛飾区講演会 7月12日（土）13時30分より、場所・ウエルピアかつしか1階
グループホーム、元気な亀さん園長講演会

- 調布ドリーム「ドリームサロン」～高次脳機能障害を、知ろう、語ろう、もっと身近に～
7月13日（日）13時～16時、調布市総合福祉センター4階

○VIVID(ヴィヴィ)主催/TKK後援：専門職向けの基礎研修会

「高次脳機能障害のある人への在宅支援」

PART1:「高次脳機能障害者の理解と対応」、7月13日（日）、国分寺市いずみホール

講師/坂爪一幸 早稲田大学教授

PART2:「高次脳機能障害者支援について」、

7月27日（日）、府中市スクエア21・女性センター

講師/東京都心身障害者福祉センター 田中真知子氏

受講料：非会員/各3000円（一括申込で5000円）、会員各2500円

申込・問い合わせ先：VIVID事務局（03-5849-4831）

○TKK主催 <ボランティア（支援者）養成講座—2—>

キリン福祉財団助成、東京都心身障害者福祉センター・東京都社会福祉協議会後援

10月5日（日） 10:00～16:00 於：東京都心身障害者福祉センター

【3】行政等の活動

●西多摩高次脳機能障害者支援地域ネットワーク連絡会、5月16日(金)、於：大久野病院

○区西部地域ネットワーク連絡会、7月3日(木) 18時～20時

於：慶応義塾大学病院 総合医科学研究棟 2階 会議室2

【4】TKK役員より

東京都の「高次脳機能障害者実態調査」の結果から 副理事長 今井 雅子

TKKのメンバーとして、一昨年の「高次脳機能障害者ニーズ調査検討委員会」、昨年の「高次脳機能障害者実態調査検討委員会」の委員として、参加させていただきました。

去る5月15日に、昨年度の東京都が行った「高次脳機能障害者実態調査」の結果がプレス発表されました。今年の1月に、都内全病院全651か所(回収数419件 64.4%) 診療所287か所(回収数194件 67.6%)と医療機関を受診している高次脳機能障害者938人(回答件数198人 21.1%)を対象にした調査結果です。

過去東京都は1999年に実態調査を行い、約4200人という数字が出ていましたが、今回は調査方法も違い、また国のモデル事業で全国約30万人という数字から、かなりの人数になるだろうとは予想していましたが、結果は49,508人、約50,000人と推定されました。また、年間発生数は約3,000人とされました。最近では脳外傷が原因の方が増えているとは思っていましたが、依然として脳血管障害が81.6%と多く、30歳代以上は脳血管障害の割合が脳外傷より高くなっており、60歳以上では脳血管障害者が89.8%を占めていました。

10年前から、制度の谷間にあり、何の支援もない高次脳機能障害者のために活動を続けてきましたが、私達にとって、この数字はとても重いものと考えます。当時から「社会問題になるぐらい増える！」と訴え続けてきましたが、事実そうなりつつあります。制度の改正が進められ、国の事業等でかなり社会に知られてきてはいますが、実際生活現場では、まだまだ理解や支援の資源が乏しいのが現実です。

東京都は、この数字を踏まえて今後の施策を考えていくわけですが、実際にどういうサービスが必要であるかを訴えていくのが私たちの使命です。「後期高齢者医療制度」問題でも明らかのように、国の施策は財政との関係が大きく、高次脳機能障害者支援も大事だとは思いますがお金がない、というのが本音だろうと思います。東京都もしかり。私たちも、限られた予算を、高次脳機能障害者施策だけに、と要求する気はありません。障害者も高齢者も、みんながより暮らしやすくなる社会を作っていきたいのです。そのためには、東京都でも無駄を省き、みんなで知恵を出し合い、よりよい制度や資源の開発を推進していきたいと考えます。

東京都からは今後の政策立案について、どういう形で行うかという方針を聞いていませんが、この調査結果を踏まえ、私達TKKの活動の中でも、政策提言を行います。また私達が担えることは何かということも、常に考え、実行して行きたいとも思っています。

※ <http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUASA/2008/05/60i5f300.htm> で調査結果を見ることが出来ます。

===== 2008.6.12 以上